



学校長あいさつ

「令和の時代を生き抜く皆さんへ」

学校長 小松崎 倫子

ご卒業おめでとうございます。

さまざまな学校行事に一生懸命取り組み、一、二年生を引っ張ってきてくれた三年生の皆さんも、あとわずかそれぞれの道に進むこととなります。

私が教員になったのは、昭和の終わり頃でした。当時は、パソコンはあってもとても高価で、個人で所有し活用する時代ではありませんでした。もちろん、文字をパソコンに入力して印刷するなど考えられませんでした。何かを調べるには、図書館に行ったり、いろいろな施設を訪ねて直接訪ねたりするしかありませんでした。電話も固定電話、屋外では公衆電話を使うのが普通でした。

それから三十年以上が経ちました。今ではパソコンは一人一台、電話は携帯電話やスマートフォンが広く行き渡っています。わざわざ足を運ばなくても、インターネット等で瞬時にさまざまな情報を得ることができるようになりました。私が教員になった頃には、とても想像ができなかった大きな変化です。

令和という新しい時代を迎えて、早くも十か月が経とうとしています。これから令和を生き抜いていく皆さんにとって、いったいどのような時代になっていくのでしょうか。

中学生の皆さんが、成人して社会に羽ばたく頃、「現在の子どもの三分の二は、将来今は存在していない職業に就く」「今後十年から二十年程度で、半数近くの仕事が自動化される」「二〇四五年には、人口知能が人類を超える『シンギュラリティ』に到達する」と予言されているのをご存知でしょうか。

『シンギュラリティ』とは、AIなどの技術が、自ら人間より賢い知能を生み出すことが可能になる時点を指す言葉で、アメリカの人工知能研究の権威であるレイ・カーツワイル博士が提唱しています。

シンギュラリティの到来により、現在の職業の三分の二がAIにとって代わられる時代がやってくるというのです。

皆さんは、このような社会の変化の中で生きていかねばなりません。目まぐるしく変わっていく時代を生きていく上で必要なことは、私たち自身もその時代の流れに沿って変わっていくことが大切です。

AIによって、変わり続ける時代を生き抜くためには、私たちが主体的に社会のさまざまな変化に対応し、積極的に社会と関わりながら生きていくことが必要です。

何よりも、他者とのコミュニケーションを大切にし、私たち人間がAIなどに支配されてしまうことがないように、一人一人がしっかりと自覚をもって生きていくことが求められるのです。

皆さんのこれからのますますの頑張りと活躍を心からお祈りしています。



## 生徒会長の「とば」

「支えられた一年間」

前期生徒会長 並木 俊輔

二〇一八年十月からの一年間、多くの方々の支えがあり、生徒会長を務めることができました。最初は、自分に仕事を務まるのか、学校全体をまとめられるのか、いろいろな心配や不安で頭がいっぱいでした。しかし、分らない仕事を先輩方が教えてくれたり、仲間たちが一緒に発表原稿を考えてくれたり、様々な周りの助けがあったことで徐々に心配や不安はなくなっていました。自分なりに、生徒会本部役員の九人の仲間たちと共に、学校に貢献できたのではないかと思います。

生徒会長として活動していく中で、学んだことがあります。それは、自分の言動には責任が伴うということです。文化祭や生徒総会など、生徒会長になってから人前で話す機会が増えました。いろいろな人から「生徒会長」と呼ばれる機会も増えました。注目されればされるほど、自分を見る目は厳しくなります。みんなに信頼してもらえるよう、自分の立場を考え、ひとつひとつの仕事に責任を持って取り組むようになりました。生徒会長という経験を経て、大切なことを学ばせてもらいました。

私たちは、多くの方々に支えられて、学校生活を送ってきました。先生、仲間、そして家族。それぞれへの感謝の気持ちを忘れず、中学校で学

んだことを今後にかかしていきたいと思えます。そして、河内中学校の生徒だったことを誇りに思い、河内中学校の名に恥じぬように、高校生活を送りたいと思います。



「絆の力で」

後期生徒会長 忍田 莉々奈

もうすぐ今年度も終わり、新たな学年へと進む時期がやってきます。この二年間、私が様々な学校行事を通じて特に思い出深かったのが文化祭です。私たちは一年のうちたった一日のために、どれだけ多くの人と協力し、練習を重ね、支え合ってきたのだろうか。文化祭によって、改めて「絆」の素晴らしさを実感しました。そして、みんなで大きな壁を乗り越えた先の感動にも出会ったこととなりました。

そんな絆の力を教えてくれた先輩方の卒業が近づいています。矢のように過ぎていく時間を、先輩方の雄姿を見習い、充実したものにしていきたいです。

先輩から生徒会長を引き継ぎ、意見箱を設置して公約を実現した今、私には新たな目標が出

来ました。それは、学校と生徒の架け橋となって、未来を共に描くことです。小さな声が多くの人たちの生活にプラスになるとしたら…。昨年は“ONE TEAM”という言葉が流行語大賞に選ばれましたが、みんながひとつになることで、世界の壁をも越えられる力となるのです。みんなでより良い学校を想像し、一人ひとりの意見が詰まった河内中の未来を創造していけたらいいと思います。



## 運動会

令和元年 六月二十二日(土)

運動会テーマ「姿咲」  
オサキ

(二年四組 植田 昌樹)



「本当の楽しさ」

実行委員長 三年四組 岡田 陽香

みなさんは河内中学校の運動会が好きですか。私はとても好きです。何故好きかというと、この河内中の運動会は私に運動会の本当の楽しさを教えてくれたからです。

河内中の運動会は、全員が全力で全てにおいて一生懸命です。絶対に忘れる事のない思い出として残る、河内中最大の行事だと思います。私がそれを感じたのは、クラスの団体競技の長縄でした。得意な人、不得意な人がいる中で、それ

それが自分の最大限の力を出し切り、競技に挑む姿に感動しました。そして、私はこの競技から全員で全力でやるからこそその楽しさを学びました。また、実行委員長を経験したことで、全体をまとめることの大変さや、運営をする側の楽しさも知ることができました。

私にとって運動会は、本当の楽しさを教えてくれた行事です。このような経験ができてとても良かったと思っています。後輩の皆さんには河内中の素晴らしい伝統を受け継ぎ、さらに運動会を盛り上げてほしいと思います。



「軌跡」

優勝 赤団 三年一組

「赤団は三位や四位が当たり前」というジンクスを破るために私たちは日々厳しい練習をしてきました。最初は、気持ちはバラバラで、このまま練習を続けていいのか、という悩みを抱えていました。しかし、運動会前日、団長の話で私たちの心は一つとなりました。そして、「絶対に優勝する」という本番への強い意志を固めることができました。

六月二十二日、いよいよ運動会当日。私たちは、他のどの団よりも強い気持ちでこの日を迎えました。時間が経つにつれて、その思いは強くなりました。綱引きでは「西側が不利」と言われながらも勝利し、自信をもつことができました。他の種目も全力を尽くし、運動会を心から大切に思

うようになりました。そして結果発表……。赤団が優勝したと知った時のうれしさや、達成感は今でも忘れられません。最高の仲間と最高の瞬間を味わった喜びを胸に河内中運動会がさらに盛り上がることを願っています。

### 合唱コンクール

令和元年十月二十六日（土）

合唱コンクールスローガン

「どこまでも響け 輝け 想いよ届け！」

（二年一組 小玉 祥太郎）



「河内中だからこそ」

実行委員長 三年四組 岡田 陽香

今年の合唱コンクールは、私が経験してきた中で一番レベルの高い合唱コンクールでした。約二か月の短い時間の中であのような素晴らしい合唱ができるのは河内中の生徒だからこそだなと思えました。

私は合唱コンクール実行委員長を経験し、運営の楽しさや大変さ、そして運動会実行委員長の時とはまた違う緊張感を味わうことができました。合唱コンクールは音楽鑑賞会でもあり、保護者の方々も見に来てくださっていました。大勢の人の前で実行委員長あいさつをしたり、指示を出したりすることは緊張しましたが、それ

をやりとげたことで自分に自信を持つことができました。

これからも、河内中のよき伝統として、合唱コンクールを盛り上げていってほしいです。また、ここまでのレベルにまで上げられたのは、支えてくださった保護者の方や先生方のおかげだと思います。これからの発展を期待しています。



「想いを歌に」

大賞 三年三組

私たち三年三組は、ひめゆり学徒隊のすべてを詰め込んだ曲、「ひめゆりの塔」を歌いました。音楽や休み時間を使ってパートごとに練習を重ねましたが、とにかく曲が難しく、楽譜どおりに歌うことに必死でした。

ある日、先生がみんなに沖縄戦の映像を見せてくれました。ガマに手榴弾を投げ込むアメリカ兵、戦いにより負傷する人々、逃げることもできずに自ら死を選ぶ人々、そんな中を必死に生きるひめゆり学徒隊。想像を超えるほどの悲惨な映像に、みんな言葉を失いました。この日から、

歌に気持ちが入るようになりました。強弱の付け方や表情の変化、一つ一つにこだわり、どうしても沖縄戦の悲惨さを歌に込め、みんなに伝えることができるかを話し合いました。

そして迎えた本番の日、先生がみんなにお守りをくれました。今までの力を発揮すれば大丈夫と自分たちを信じて、できることを全て出し尽くしました。結果は大賞。このクラスで、このメンバーで、最高の合唱を作り上げることができました。三組のみんな、ありがとう。



「変わらない絆」

二年金賞 二年三組

僕は今まで、指揮者のように皆の前に出るようなことをしてきませんでした。最初はうまく指揮ができていたか不安でした。一回目のリハーサルをビデオで撮った時は、伴奏と合わず悔しい思いをしましたが、本番前のリハーサルでは練習の成果が出て安心しました。

合唱コンクール本番では、他のクラスの発表を聞いて不安になりました。ついに自分たちの番になって、とても緊張しましたが、クラスのみんなのサプライズで心が和らぎ、安心して指揮をすることができました。

結果発表の時は、先生にももらったお守りを握って、みんなで祈りました。結果は金賞という最高の結果になりました。僕自身の最高の思い出になったことはもちろん、三組の絆がより一層

深まったように感じました。

「心だけは決して変わらない絆で結ばれてる」この歌詞は、僕たちの変わらない絆を表しています。これからも三組らしく、男女仲良くみんな楽しんでいきたいです。



「努力は実る」

一年金賞 一年二組

一年二組が金賞を取ることができたのは、一人一人が努力をしたからだと思います。

クラスの練習を支え、指導することがいかに大変だと知りました。練習をしている時、隣の人とおしゃべりをしていて話を聞いてくれないこともあり、もうやりたくないと思うことが何度もありましたが、私たちは諦めずみんなが本気になってくれることを信じていました。

一回目のリハーサルでは、二組がとても上手だったと言われ、うれしかったのですが、二回目では前回とあまり変わっていないと指摘を受け、とてもショックでした。

最初は皆も嫌がっていた朝練ですが、他のクラスよりももっと上手になりたいという気持ちで団結力が生まれ、あまりやってこなかった朝練の回数も増やし、練習を重ねました。

迎えた本番では、今まで以上の力を発揮することができ、見事金賞を取ることができました。

「努力は実る」本当にそう感じました。

## 冒険活動

令和元年六月十三日～十五日

冒険活動教室スローガン

「困難は 仲間とともに 乗り越えて

未来につなぐ 笑顔と友情」

(二年四組 貞方 麻琴)



「冒険活動を終えて」

実行委員長 一年一組 小林 泉

私が冒険活動教室実行委員長をやって心に残ったことが二つあります。

一つ目は登山です。五山登るのはとても大変だったけれど、班の人達とはげまし合いながら登りました。途中の山頂で見た景色はとてもきれいで達成感があり、ここまで登ってきてよかったと思える景色でした。

二つ目は、キャンドルファイヤーとレクリエーションです。キャンドルファイヤーでは実行委員が中心となって、進めることができました。レクリエーションの校歌コンクールでは、クラスごとに、校歌を歌いました。どのクラスも特徴があつて一年生全体で盛り上がり、お互いのクラスを知る良い場となりました。

この冒険活動教室を通して私はいろいろなことを学びました。皆をまとめることの大変さや、協力の大切さを実感することができました。クラスの絆も深まって、良い思い出になりました。



## 社会体験学習

令和元年七月一日～五日

社会体験学習スローガン

「一直線く夢に向かって突き進めく」

(二年四組 植田 昌樹)



「未来の担い手たち」

実行委員長 二年四組 井上 咲来

私は、「社会体験学習」を引つ張る実行委員長を務めさせていただきました。私はこれまでリーダーになるという経験がなく、戸惑うことが多かったのですが、実行委員の支えもあり、緊張感を持ちながら社会体験学習をよいものに作り上げることができたと思います。

私が行ったのは岡本西小学校でした。生徒として学校に行くのと、教師として学校に行くのでは、全く印象が異なりました。その中で学んだのは、「常に周りに気を配らなくてはいけない」ということです。約三十人もいるクラスをまとめながら、一人一人の様子を見る。単純そうに見えて、一番難しかったことでした。

私は初めて実行委員長になったこと、教師を体験したことでたくさんを知り、考え方が変わりました。それをどう活かし、未来をどのように作っていくのかというのが、今の私たち二年生の課題だと思います。



## スキー教室

令和二年二月六日～七日

スキー教室・立志式スローガン

「助走くあの大きな空に向けてく」

(二年二組 安田 莉都)



「スキー教室・立志式を終えて」

実行委員長 二年三組 金田 彩芭

私は実行委員長として「自覚」「立志」「健康」の目標のもと当日まで活動してきました。

実行委員での活動はとても充実していて、自分が成長するきっかけにもなりました。係決めでは、積極的に手を挙げ、多くの係につきましました。先生や他の実行委員とのコミュニケーションも積極的にとれるようになりました。

二年生としては、全力で楽しむ力と責任感が得られたと思います。スキー教室では立志に向けて最初は気が張っていましたが、滑り始めるとても楽しく、夢中になっていました。各係で責任を持ち、活動することができました。

今回の立志式、スキー教室で得られたことは本当に多く、自分のためになりました。今回得られたことを学校生活にいかし、個人でも学年でも成長していきたいです。



## 修学旅行

令和元年七月三日～五日

修学旅行スローガン

「心に彩れ古都の色 友と歩く歴史の道」

(三年三組 相馬 瑠奈)



「心に彩りを」

実行委員長 三年三組 相馬 瑠奈

私たち実行委員は、中学校生活最後の行事である修学旅行を、学年全員の良い思い出にするために「彩り」というテーマを掲げました。実行委員一人一人が、修学旅行中にどのように動けばいいのか、どのように指示を出したらみんながスムーズに動けるのか、何度も細かく話し合いを重ねてから、当日を迎えました。

奈良・京都での班別活動・クラス別活動では、日本の古き良き文化に触れ合うことができました。三日間を共に過ごし、普段とは違った仲間の一面を知ることができました。これら全てが私たちの彩りを加えてくれました。

修学旅行を通して感じたものや発見が、学年のたくさんの方の心に彩り続けてくれるとうれしいです。私たちが支えてくださった先生方、そして見守ってくださった保護者の方々、ありがとうございました。



## 各クラスから



「二年一組の思い出」

一年一組

クラスで一番の思い出は運動会の台風の目です。その競技では、一致団結し一位を取ることができました。練習で上手くできないところがあれば、話し合って改善したり、先生や先輩たちからアドバイスをいただいたりして、最初のころは遅かったけど、はやくできるようになりました。

運動会を通して、一組のまとまりが感じられました。また一組で一致団結したいです。



「HOME」

一年二組

一年二組は、常に一人一人が元気で、活気にあふれ一致団結できるクラスです。休み時間には笑顔が絶えず、授業では真剣に取り組みテストに向けて努力ができ、メリハリがあります。また運動会や合唱コンクールでは、改善点についてたくさん話し合いを重ね一層絆が深まり、運動会では準優勝、合唱コンクールでは金賞を取ることができました。

一年二組は、入学してから一回りも二回りも成長できた最高のクラスです。



「A Sunny Smile」

一年三組

私達一年三組は、富士蒼汰を愛してやまない庄子先生、賑やかな男子といつも笑顔が絶えない女子がいるクラスです。朝からテンションが高く、休み時間は男女ともに遊び、給食をモリモリ食べ、困っている人を助ける思いやりのある人がたくさんいます。運動会では練習を重ね、先輩達と一致団結して優勝し、合唱コンクールではクラスが一つになり最後は素晴らしいハーモニーを奏することができました。残りの日々を大切に過ごしたいです。



「絆」

一年四組

一年四組は、笑顔があふれていて、全員で協力できるクラスです。合唱コンクールでは、毎日練習してきた「絆」を精一杯歌うことができました。金賞は取れなかったけど、絆が深まる思い出になって良かったです。その一方、三分前着席や提出物をまだ意識できていないので注意されてしまいます。そんな四組ですが、一年四組のクラスメイトに出会えて、本当に毎日が楽しかったです。一年間ありがとうございました。



「三年生に向けて」

二年一組

二年一組は、個性豊かでも明るく、活気あふれるクラスです。クラス替えをしてから十か月がたち、今では一体感があり、とても仲が良いです。運動会や合唱コンクールなどの学校行事には積極的に取り組み、クラスの団結力も高まりました。あと少しで三年生になるので、最上級生としての自覚を持って、学校行事や普段の生活で後輩の見本となり、リードできるようなクラスをつくっていききたいです。



「秘められた力」

二年二組

二年二組のよさといったら、なんととっても「個性」だろう。ともに過ごしたこの一年間で、それぞれが個性を發揮し、互いにぶつかり合いながらもその個性を認め合うことでクラス全体で成長することができた。しかしその反面で今は、一人ひとりの間に「差」が生まれている。自分たちで気づき、まとまり、目標に向かって努力して差がなくなるようにしたいと思う。二組に秘めた可能性を見つけ出してともに進みたい。



「ありがとうそしてよろしく」

二年三組

僕たち二年三組は、男女が仲良く様々な行事に全力で取り組むことができ、生徒一人ひとりの個性が強く、楽しいクラスです。男女共にとてもにぎやかで、授業や行事に良い雰囲気を取り組んでいます。これまで、運動会、合唱コンクールなど、生徒、先生、クラス全体が熱くなって練習に励み、見事どちらも一位とうれしい結果で終わることができました。

このメンバーで生活できるのもあと一年。全力で、最高の一年にしていきたいです！



「楽しい二年四組!!!」

二年四組

僕たち二年四組は、少しおっちょこちょいな担任の時本先生と楽しく学校生活を送っています。二年四組は、一人一人の個性がとても強く、授業中も自ら発表したり、グループでの活動でも自分から発言する人が多く、いつも雰囲気がいいので、毎日学校に行くのが楽しみです。来年度はついに受験生になるので、クラスの仲間とともに高め合っていきたいです。



「我ら三年一組」

三年一組

三年一組は元気で明るいクラスです。元気づきるあまりトラブルの原因となってしまうことがあります。その良さに救われた場面は数えきれないほど多くあります。また、互いに励まし合い、助け合えるクラスでもあります。誰かが悩んだりしていると、アドバイスをくれたり明るい気持ちにさせたりしてくれます。そんなかけがえのない最高の仲間と過ごした経験を生かし、自らの決めた道を歩んでいきたいです。



「野澤組だよお。」

三年二組

僕たち三年二組は、野澤先生と男子十七名女子十九名の計三十六名です。運動会では、本番に長縄で最高記録を出し、団結力が深まりました。文化祭、合唱コンクールでは笑顔があふれていました。合唱は「二詩人の最後の歌」という難しい曲に挑戦し、うまくいかないことがあったけれど、本番では皆が感動するくらいに、立派な合唱となりました。僕たちはもうすぐ卒業しますが、不撓不屈の気持ちで頑張っていきたいです。



「飛び立て!どうぶつの森!」

三年三組

ハローエブリワン!元気で明るい三年三組は、個性あふれるクラスです。毎日動物園のように騒いでいます。しかし、騒いでいるわりにはテストの平均点が毎回高いのが特徴です(実は真面目なんです)。また、学校行事ではクラス全員が力を發揮し、より団結力を深めました。毎日楽しく過ごしてきた仲間と、もうすぐ離れ離れになってしまいます。くだらないことで笑い合えたこのクラスは、最高のクラスでした。二年間スマイルで過ごせました◎



「ヒカルス」

三年四組

三年四組は、個性強めのクラスです。授業中は控えめですが、昼休みになると化けの皮がはがれて、大きわぎです。でも、そんなクラスですがお互いのことを助け合い、誰もが活躍できる場があります。とにかく「やるときはやる！」クラスです。学校行事はもちろんのこと、遊びに対しても常に全力です。私たちはそんな四組に誇りを持っていきます。このメンバーで良かったと心から思えます。いつまでも、大切にしたい仲間です。

ちなみに、タイトルの意味は二、三年生とのときの合唱曲を合わせたものです。

「ヒカリ」+「クルスの島」=「ヒカルス」



「楽しいしらさぎ学級」

しらさぎ学級

私たちしらさぎ学級は、担任の石田先生、大島先生、橋本先生のご指導のもと、明るく元気に過ごしています。しらさぎ学級で楽しかったことは宿泊学習です。みんな、電車とバスに乗りました。しらさぎ学級での一番の思い出です。しらさぎ学級みんなは、いつも明るく、元気いっぱいです。國井さんなどがモノマネなどをしていつも笑いをとっています。みんなで話をしたり、遊んだりしることがとても楽しかったです。

令和元年度 部活動の軌跡

野球

宇河春季 初戦敗退  
宇河総体 3位

県総体 初戦敗退  
宇河新人 準優勝

県新人 初戦敗退

サッカー

宇河春季 二回戦敗退  
宇河総体 二回戦敗退  
宇河新人 初戦敗退

バスケットボール

宇河春季 ベスト8  
県春季 初戦敗退  
宇河総体 ベスト8  
県総体 二回戦敗退  
宇河新人 初戦敗退



男子卓球

宇河春季 団体 リীগ敗退

個人 県出場 米花亮真

宇河総体 団体 決勝トーナメント初戦敗退

個人 県出場 米花亮真

県総体 個人 初戦敗退

宇河新人 団体 リীগ敗退

女子卓球

宇河春季 団体 決勝トーナメント初戦敗退  
宇河総体 団体 決勝トーナメント初戦敗退  
宇河新人 団体 決勝トーナメント初戦敗退

男子バレーボール

宇河春季 6位  
県春季 7位  
宇河総体 6位  
県総体 ベスト8  
宇河新人 9位  
県新人 二回戦敗退

女子バレーボール

宇河春季 リীগ敗退  
宇河総体 リীগ敗退  
宇河新人 順位決定戦 初戦敗退



男子バドミントン

宇河春季 団体 初戦敗退  
 個人 8位 弓取・小林ペア  
 宇河総体 団体 県出場  
 個人 県出場 弓取・小林ペア  
 県総体 団体 二回戦敗退  
 宇河新人 団体 二回戦敗退  
 個人 5位 小玉・梅田ペア  
 県新人 団体 二回戦敗退  
 個人 ベスト16 小玉・梅田ペア

女子バドミントン

宇河春季 団体 6位  
 個人 6位 伊東万結子  
 8位 岡田・齊藤ペア  
 県春季 団体 二回戦敗退  
 個人 ベスト8 伊東万結子  
 宇河総体 団体 7位  
 個人 県出場 伊東万結子  
 県総体 団体 初戦敗退  
 宇河新人 団体 初戦敗退

男子ソフトテニス

宇河春季 団体 準優勝  
 個人 優勝 並木・小平ペア  
 5位 大橋・平林ペア  
 県出場 熊木・林ペア  
 小川・雨谷ペア  
 県春季 団体 準優勝  
 個人 3位 並木・小平ペア  
 ベスト16 大橋・平林ペア  
 宇河総体 団体 準優勝  
 個人 3位 大橋・平林ペア  
 ベスト16 並木・小平ペア  
 県出場 熊木・林ペア

県総体

団体 優勝  
 個人 5位 大橋・平林ペア  
 初戦敗退  
 宇河新人 団体 優勝  
 個人 優勝 大橋・平林ペア  
 3位 小川・今川ペア  
 県出場 熊木・小林ペア

県新人

団体 ベスト8  
 個人 3位 大橋・平林ペア

女子ソフトテニス

宇河春季 団体 優勝  
 個人 5位 半田・大野  
 ベスト16 若林・斎藤ペア  
 駒場・大竹ペア  
 県春季 団体 二回戦敗退  
 個人 ベスト16 半田・大野ペア

宇河総体

団体 優勝  
 個人 優勝 半田・大野ペア  
 5位 若林・斎藤ペア  
 県総体 団体 3位  
 個人 ベスト16 半田・大野ペア  
 関東大会 団体 ベスト8  
 宇河新人 団体 初戦敗退  
 個人 5位 半田・押山ペア  
 個人 ベスト16 半田・押山ペア

体操競技

宇河春季 総合2位 松浦さくら  
 県春季 総合3位 松浦さくら  
 宇河総体 総合優勝 松浦さくら  
 県総体 総合4位 松浦さくら  
 関東大会 出場

柔道

宇河春季 二回戦敗退  
 宇河総体 初戦敗退  
 宇河新人 初戦敗退



水泳競技

宇河春季	女子 200 m	平泳ぎ 1位	寺尾夏実
県春季	女子 100 m	平泳ぎ 1位	寺尾夏実
	女子 200 m	平泳ぎ 3位	寺尾夏実
	女子 100 m	平泳ぎ 2位	寺尾夏実
宇河総体	女子 100 m	平泳ぎ 1位	寺尾夏実
	女子 200 m	平泳ぎ 1位	寺尾夏実
県総体	女子 100 m	平泳ぎ 3位	寺尾夏実
	女子 200 m	平泳ぎ 3位	寺尾夏実
関東大会	女子 100 m	平泳ぎ 3位	寺尾夏実
宇河新人	女子 200 m	平泳ぎ 1位	寺尾夏実
県新人	女子 100 m	平泳ぎ 1位	寺尾夏実
	女子 200 m	平泳ぎ 2位	寺尾夏実
	女子 100 m	平泳ぎ 1位	寺尾夏実

陸上競技

宇河春季	一年男子 100 m	1位	大関天晴
県春季	一年男子 100 m	1位	大関天晴
宇河総体	一年女子 100 m	2位	野崎ニコール舞子

駅伝競走

男子	11位
女子	4位
四区区間賞 (区間新)	廣幡 真依



吹奏楽

栃木県吹奏楽コンクール	中学生の部 B部門	金賞
栃木県吹奏楽コンクール	中学生の部 B部門 代表選考会	
宇河地区アンサンブルコンテスト		優秀賞
打楽器三重奏		金賞
木管八重奏		金賞
金管六重奏		銀賞
栃木県アンサンブルコンテスト		金賞
木管八重奏		金賞
東関東アンサンブルコンテスト		金賞
木管八重奏		金賞

美術

うつのみやジュニア芸術祭	ポスター原画展	特賞	竹松 碧依
学校美術展 絵画の部	特賞	真橋 優羽	
デザインの部	金賞	小野 心海	
立体の部	特賞	及川 莉夢	
	金賞	増渕 絢乃	
	金賞	阿部 凜世	
	金賞	中村 文音	
	金賞	谷田貝心春	
	金賞	今井 杏莉	
	特賞	真橋 優羽	
	特賞	阿部 凜世	
	特賞	小野 心海	
	特賞	坂本 優衣	
	金賞	貞方 麻琴	

全国教育美術展

特選	竹松 碧依
特選	砂田 友理
特選	飯田 茉凜
特選	増渕 絢乃
特選	小野 心海
特選	小野 心海
特選	飯田 茉凜

